


# 地場企業の経営動向調査

(平成21年度 第1・四半期)

平成21年8月3日

 福岡商工会議所

総合企画本部 企画広報グループ

TEL 092-441-1112

## 調査目的

福岡市内地場企業（一部福岡市近郊を含む）の景況及び経営動向を把握すると同時に、これらの情報を企業へ提供し、企業経営の参考に資するものである。

## 調査対象

当所会員企業を対象とし1,500社を任意抽出したもので、対象企業の内訳は中小企業 1,430社（構成比率95.3%）、大企業70社（構成比率4.7%）により構成されている。

回答した企業数は704社、回答率46.9%となっており、回答企業の内訳は、中小企業658社（構成比率93.5%）、大企業46社（構成比率6.5%）となっている。

中小企業の範囲は中小企業基本法の定義に基づく。

## 調査要領

四半期毎にアンケート用紙を郵送、前年同期比の回答を求めるもので、今回は平成21年4～6月期の実績、及び平成21年7～9月期の予想について、平成21年6月末時点で調査した。

## 調査内容

DI値を集計（DI=「良いとする回答割合」-「悪いとする回答割合」）

DI・・・ Diffusion Index（景気動向指数）の略

### 景気・経営動向調査

- 1．自社・業界の景況
- 2．生産額、売上額、完成工事高
- 3．原材料・製（商）品仕入価格
- 4．受注価格、販売価格
- 5．製（商）品在庫
- 6．営業利益
- 7．売掛期間
- 8．資金繰り
- 9．100万円以上の新規借入

平成21年度 第1・四半期

調査対象企業数及び回収結果

規 模 別	対象数	回答数	回答率	回答結果の構成比
全 業 種	1,500	704	46.9%	
中 小 企 業	1,430	658	46.0%	93.5%
大 企 業	70	46	65.7%	6.5%

業 種 別	対象数	回答数	回答率	回答結果の構成比
全 業 種	1,500	704	46.9%	
建 設 業	241	137	56.8%	19.5%
土木建設業	84	44	52.4%	6.3%
建設付帯工事業	81	39	48.1%	5.5%
電気・管工事業	76	54	71.1%	7.7%
製 造 業	170	98	57.6%	13.9%
食料品製造業	45	23	51.1%	3.3%
繊維製品製造業	12	5	41.7%	0.7%
建材・木・紙製品製造業	9	3	33.3%	0.4%
印刷・製本業	28	17	60.7%	2.4%
窯業・土石製品製造業	5	4	80.0%	0.6%
金属製品製造業	18	14	77.8%	2.0%
一般機械器具製造業	18	9	50.0%	1.3%
電気機械器具製造業	9	7	77.8%	1.0%
その他製造業	26	16	61.5%	2.3%
卸 売 業	204	116	56.9%	16.5%
食料品卸売業	49	30	61.2%	4.3%
繊維製品卸売業	19	11	57.9%	1.6%
建材・住宅機器卸売業	29	16	55.2%	2.3%
金属・鋼材卸売業	1	1	100.0%	0.1%
一般機械器具卸売業	34	21	61.8%	3.0%
電気機械器具卸売業	2	1	50.0%	0.1%
石油・化学製品卸売業	4	3	75.0%	0.4%
その他卸売業	66	33	50.0%	4.7%
小 売 業	243	83	34.2%	11.8%
食料品小売業	62	18	29.0%	2.6%
衣料品・身の回り品卸売業	39	16	41.0%	2.3%
石油・化学製品小売業	1	1	100.0%	0.1%
車両運搬具小売業	19	6	31.6%	0.9%
家電・厨房器具小売業	8	4	50.0%	0.6%
百貨店・セルフ店	11	6	54.5%	0.9%
その他小売業	103	32	31.1%	4.5%
運 輸 ・ 倉 庫 業	41	20	48.8%	2.8%
旅客運送業	9	3	33.3%	0.4%
貨物運送・倉庫業	32	17	53.1%	2.4%
サ ー ビ ス 業	601	250	41.6%	35.5%
情報処理サービス業	64	37	57.8%	5.3%
その他事務所サービス業	359	159	44.3%	22.6%
ホテル・旅館・飲食業	120	34	28.3%	4.8%
その他の個人サービス業	58	20	34.5%	2.8%

## 「 福商・経営動向調査 」 調査結果

### 景況概況 (DI 値の動き)

1. 自社業況は、今期 59.9 となり、前期との比較ではプラス7.2ポイントと平成18年度第3四半期(10月~12月)以来10期ぶりの好転となった。  
業種別に対前期比をみると、全産業中、運輸・倉庫業が-15.7ポイント(前期DI 69.3)と悪化したものの、建設業+15.9ポイント(同 72.9)、サービス業+9.8ポイント(同 71.4)、卸売業+6.8ポイント(同 69.7)、製造業+2.3ポイント(同 61.5)の改善となった。また、小売業は前期と同ポイントだった。  
次四半期(H21年7~9月)の全業種予測DI値は 49.5(今期比プラス10.4ポイント)となっており、さらに改善することが予測されているものの依然として低い水準である。
2. 業界の景気動向は、今期 80.8 と前期との比較ではプラス5.2ポイントと10期ぶりの好転となった。  
次四半期については 65.9 とプラス14.9ポイントの改善が予測されている。
3. 生産額、売上高、完成工事高は、今期 55.8 と前期との比較ではプラス5.3ポイントとなり、8期ぶりの好転となった。  
次四半期については 49.9 とプラス5.9ポイントの改善が予測されている。
4. 原材料、製(商)品仕入価格は、今期 0.2 と前期との比較ではマイナス9.4ポイントで3期連続下落となった。  
次四半期については 2.0 とマイナス2.2ポイントの下落予測となっている。
5. 受注価格、販売価格は、今期 47.1 と前期との比較ではマイナス2.0ポイントの悪化となっている。  
次四半期については 38.1 とプラス9.0ポイントの改善が予測されている。
6. 営業利益は、今期 55.5 と前期との比較ではプラス3.9ポイントの改善となっている。  
次四半期については 49.4 とプラス6.1ポイントの改善が予測されている。
7. 売上増加の理由は、「受注、需要の増加」39.6%、「得意先開拓・客数の増加」35.8%に集中している。  
一方で減少した理由としては、「受注、需要の減少」76.2%、「得意先開拓・客数の減少」39.9%、「客単価の低下」37.9%、「出荷・販売価格の上下、料金改定」23.1%の順となっている。
8. 当面の経営上の問題点としては、「売上高、生産額、工事高の伸び悩み」64.9%、「受注、販売競争の激化」55.1%、「営業利益の低下」52.1%「販売価格への転嫁難」21.3%、「経費の増加」18.0%の5項目を指摘する傾向が続いており、全業種ともほぼ5項目に集中している。  
他に指摘が集中した項目として、「官公需要の停滞」が全業種で17.2%のうち建設業が34.3%と突出し、運輸・倉庫業の「金利負担増加」30.0%、「販売代金の回収難、不良債権の増加」20.0%、「人手過剰、人件費増」20.0%が、全業種に比べ非常に高水準となっている。

## 参考指標

日経平均株価	9,958.44 円	(平成 21 年 6 月 30 日 終値)
対米ドル円相場終値	96.32 円	(平成 21 年 6 月 30 日 終値)
対ユーロ円相場終値	135.16 円	(平成 21 年 6 月 30 日 終値)
原油価格 (WTI)	US\$ 69.89/バレル	(平成 21 年 6 月 30 日 終値)

## 景気判断

平成21年6月の月例経済報告（内閣府）では景気の基調判断を「景気は、厳しい状況にあるものの、一部に持ち直しの動きがみられる。」とし、景気は依然として厳しい状況が続いているものの、僅かに回復が見られる。

併せて「企業収益は、極めて大幅に減少している。設備投資は、大幅に減少している。雇用情勢は、急速に悪化しており、厳しい状況にある。個人消費は、弱い動きとなっているものの、一部に下げ止まりの兆しもみられる。輸出は、持ち直しの動きがみられる。生産は、持ち直している。先行きについては、当面、雇用情勢が悪化するなかで、厳しい状況が続くとみられるものの、在庫調整圧力の一層の低下や経済対策の効果が景気を下支えすることに加え、対外経済環境が改善することにより、景気は持ち直しに向かうことが期待される。一方、生産活動が極めて低い水準にあることなどから、雇用情勢の一層の悪化が懸念される。加えて、世界的な金融危機の影響や世界景気の下振れ懸念など、景気を下押しするリスクが存在することに留意する必要がある。」としている。

当所の今四半期（平成21年4～6月）調査において、地場企業の自社業況判断指数（DI値＝前年同期と比較し「良くなった」とする回答割合から「悪くなった」とする回答割合を引いた数値）の全業種平均DI値は 59.9で前期比プラス7.2ポイントと平成18年度第3四半期（10月～12月）以来10期ぶりの好転となった。

### 【DI値の推移】

H18 第2 期	H18 第3 期	H18 第4 期	H19 第1 期	H19 第2 期	H19 第3 期	H19 第4 期	H20 第1 期	H20 第2 期	H20 第3 期	H20 第4 期	H21 第1 期
17.4	11.2	16.9	17.0	28.2	29.6	35.8	45.2	46.9	60.9	67.1	59.9

## まとめ

今期の自社業況については、10期ぶりの好転となった。業種別においては、6業種中4業種で改善がみられた。

DI値は(平成3年度第2・四半期以来)72期連続でマイナス値となった。

全般的には、受注価格、販売価格DIは小幅に悪化しているのに対し、原材料・製(商)品仕入価格DIは前期に比べ大幅に下落していること

から、生産額・売上高・完成工事高 DI は 8 期ぶり、営業利益 DI は 3 期ぶりに改善しており、景況感の回復の兆しが窺える。

しかし、持ち直しが見られるのは一部であり、全体的には「価格競争が激しいため、利益が少ない」等、安定した仕事量と販売価格が確保できず、依然として厳しい状況が続いている。

規模別にみると、大企業では、自社業況 DI 値が前期比マイナス 1.0 ポイント(DI 値 58.8)と 3 期連続悪化し、調査対象の 9 割以上を占める中小企業の自社業況 DI 値は、前期比プラス 7.6 ポイント(DI 値 60.1)と 8 期ぶりの改善となった。営業利益 DI については、大企業ではプラス 14.0 ポイント、中小企業ではプラス 3.3 ポイントとなっており、規模にかかわらず収益性は改善している。

業種別にみると、運輸・倉庫業を除く全産業で前期並もしくは、改善が見られた。特に、建設業(前期比プラス 15.9(DI 値 57.0))において大きく改善しており、一部では「経済対策により受注工事が増加した」という声が聞かれた。しかしながら、一時的なものではないかという懸念もあり、先行き不透明感から建設業の次期予測においては、悪化が見込まれている。

次四半期の予測 DI 値は 49.5 となっており、改善(今期比プラス 10.4 ポイント)が予測されているが依然として低い水準である。また、業種別においては、建設業を除く全産業で改善を予測している。

#### 回答企業の主なコメントより(抜粋)

- ・ 受注工事は前年度より今後はやや増加の傾向にあるが、競争の激化、単価の下落により利益面の期待は薄い。(建設)
- ・ 高速道路料金引下げにより鉄道利用者の減少に加え、新型インフルエンザによる旅行控えの影響もあり、駅での弁当売上げが大きく減少した。(製造)
- ・ 小売事業は順調であるが、卸事業について特に今年の 2 月以降落込みが激しい。得意先が必要以上に仕入れを抑えているように感じる。(製造)
- ・ 取引先の業況は若干回復してきたものの、総需要の減少により当面厳しい状況が続く見通し。(卸売)
- ・ 新型インフルエンザ関連商品がよく売れたが、単価が低いため売上増にはあまり結びつかなかった。先行き不安感から消費者の財布の紐は固い。(小売)
- ・ 営業利益が増加しているのは、前年同期に比べ原油価格が下落した為であり、売上げは低下している。(運輸)

# 1. 自社・業界の景況

《自社景況は10期ぶりに好転、次期予測はさらに改善へ》

今四半期（H21年4～6月）の地場企業の景況判断指数（DI値）は、全業種平均で「良くなった」と回答した企業割合は9.1%（前期比+1.6ポイント）、「悪くなった」と回答した企業割合は69.0%（前期比-5.6ポイント）、「横ばい」と回答した企業割合は21.6%（前期比+3.7ポイント）となった。  
**DI値は 59.9（前期DI 67.1）**となり、前期比で+7.2ポイントと改善した。

業種別に対前期比でDI値を見ると、全産業中、今回の調査で運輸・倉庫業が-15.7ポイント（前期DI 69.3）と悪化したものの、建設業+15.9ポイント（同 72.9）、サービス業+9.8ポイント（同 71.4）、卸売業+6.8ポイント（同 69.7）、製造業+2.3ポイント（同 61.5）と改善が見られた。また、小売業は前期と同ポイントだった。

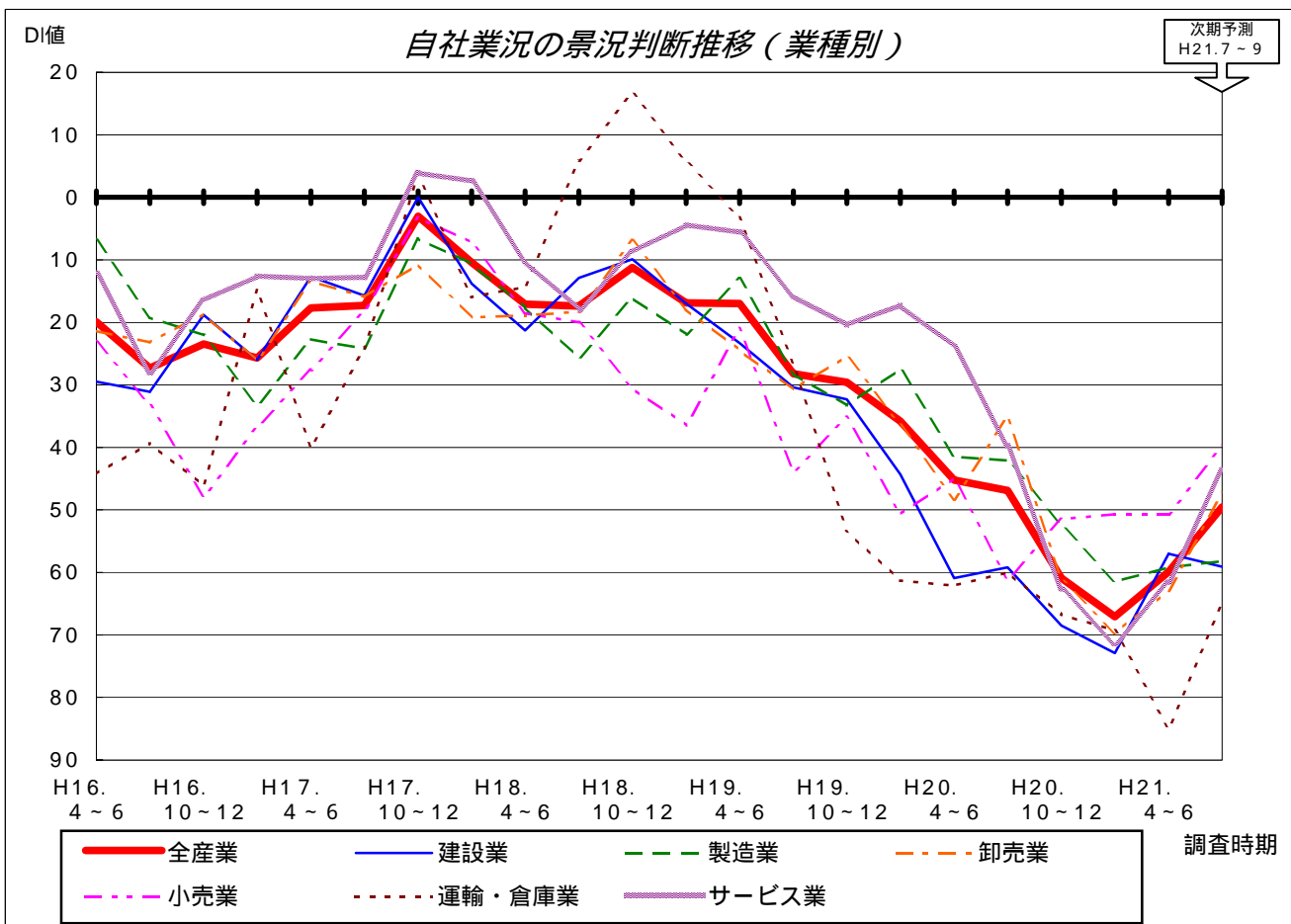
また、規模別のDI値を見ると、中小企業は前期比+7.6ポイント（前期DI 67.7）の改善となったが、大企業では-1.0ポイント（同 57.8）の悪化となった。

次四半期（H21年7～9月）の全業種予測DI値は 49.5（今期比+10.4ポイント）となっており、改善が見込まれている。

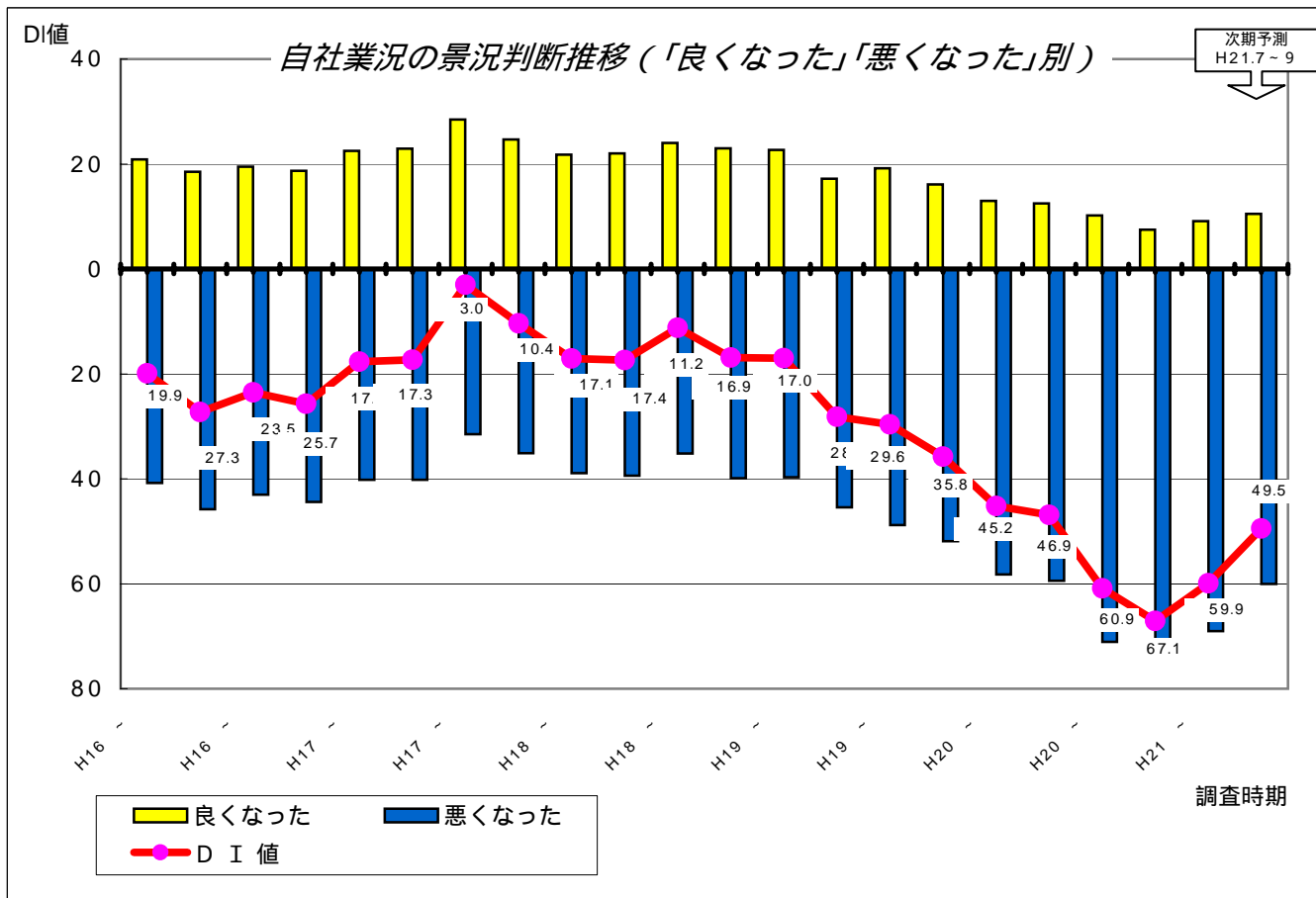
（自社業況の総合判断（前年同期と比較して））

（単位 %）

	今四半期(21年4～6月期)実績							次四半期(21年7～9月期)予測						
	非常に良くなった	やや良くなった	横ばい	やや悪くなった	非常に悪くなった	未記入	DI値	非常に良くなる	やや良くなる	横ばい	やや悪くなる	非常に悪くなる	未記入	DI値
全業種	0.9	8.2	21.6	40.9	28.1	0.3	59.9	0.3	10.2	25.6	41.2	18.8	4.0	49.5
建設業	0.7	5.8	29.9	33.6	29.9	0.0	57.0	0.0	8.0	21.2	39.4	27.7	3.6	59.1
製造業	0.0	10.2	20.4	37.8	31.6	0.0	59.2	1.0	6.1	24.5	42.9	22.4	3.1	58.2
卸売業	0.9	8.6	18.1	40.5	31.9	0.0	62.9	0.9	13.8	21.6	41.4	20.7	1.7	47.4
小売業	2.4	12.0	20.5	47.0	18.1	0.0	50.7	0.0	12.0	30.1	42.2	9.6	6.0	39.8
運輸・倉庫業	0.0	5.0	5.0	55.0	35.0	0.0	85.0	0.0	5.0	20.0	50.0	20.0	5.0	65.0
サービス業	0.8	7.6	20.8	43.2	26.8	0.8	61.6	0.0	11.2	29.2	40.4	14.4	4.8	43.6
中小企業	0.9	7.9	22.0	40.6	28.3	0.3	60.1	0.3	9.7	25.2	41.3	19.3	4.1	50.6
大企業	0.0	13.0	15.2	45.7	26.1	0.0	58.8	0.0	17.4	30.4	39.1	10.9	2.2	32.6







### 業界の景況

《業界景況は10期ぶりに好転、次期予測はさらに改善へ》

地場企業から見た自社の属する業界の景況判断指数（DI値）は、全業種平均で「良くなった」と回答した企業割合が1.7%、「悪くなった」と回答した企業割合が82.5%、「横ばい」と回答した企業割合が14.6%となっており、DI値は80.8（前期DI 86.0）と前期比で+5.2ポイントの改善となった。

業種別に対前期比でDI値を見ると、建設業が+10.0ポイント（同 89.5）、小売業+9.0ポイント（同 86.1）、サービス業+5.9ポイント（同 87.1）、卸売業+4.6ポイント（同 86.5）の改善となったが、運輸・倉庫業が-8.0ポイント（同 77.0）、製造業-1.1ポイント（同 81.6）の悪化となった。

規模別のDI値を見ると、中小企業は前期比+5.3ポイント（前期DI 80.6）、大企業は+2.1ポイント（同 86.8）とともに改善した。

次四半期予測DI値は65.9と今期比+14.9ポイントの改善が予測されている。

（業界の景気動向（前年同期と比較して））

（単位 %）

	今四半期(21年4～6月期)実績							次四半期(21年7～9月期)予測						
	非常に良くなった	やや良くなった	横ばい	やや悪くなった	非常に悪くなった	未記入	DI値	非常に良くなる	やや良くなる	横ばい	やや悪くなる	非常に悪くなる	未記入	DI値
全業種	0.0	1.7	14.6	47.6	34.9	1.1	80.8	0.0	3.4	22.9	46.9	22.4	4.4	65.9
建設業	0.0	2.9	13.9	40.1	42.3	0.7	79.5	0.0	3.6	16.1	38.7	37.2	4.4	72.3
製造業	0.0	1.0	15.3	42.9	40.8	0.0	82.7	0.0	3.1	19.4	51.0	22.4	4.1	70.3
卸売業	0.0	1.7	13.8	49.1	34.5	0.9	81.9	0.0	4.3	25.0	44.8	23.3	2.6	63.8
小売業	0.0	2.4	16.9	56.6	22.9	1.2	77.1	0.0	4.8	25.3	50.6	14.5	4.8	60.3
運輸・倉庫業	0.0	0.0	15.0	35.0	50.0	0.0	85.0	0.0	5.0	20.0	45.0	25.0	5.0	65.0
サービス業	0.0	1.2	14.4	50.8	31.6	2.0	81.2	0.0	2.4	26.4	49.6	16.4	5.2	63.6
中小企業	0.0	1.7	14.9	46.4	35.9	1.2	80.6	0.0	3.2	22.3	46.4	23.6	4.6	66.8
大企業	0.0	2.2	10.9	65.2	21.7	0.0	84.7	0.0	6.5	30.4	54.3	6.5	2.2	54.3

## 2. 生産額、売上高、完成工事高

《8期ぶりに好転、次期予測はさらに改善へ》

生産額、売上額、完成工事高は、全業種平均で「増えた」と回答した企業割合は7.5%、「減った」と回答した企業割合は63.3%となっており、DI値は 55.8 (前期 61.1) と前期比+5.3ポイントの改善となった。

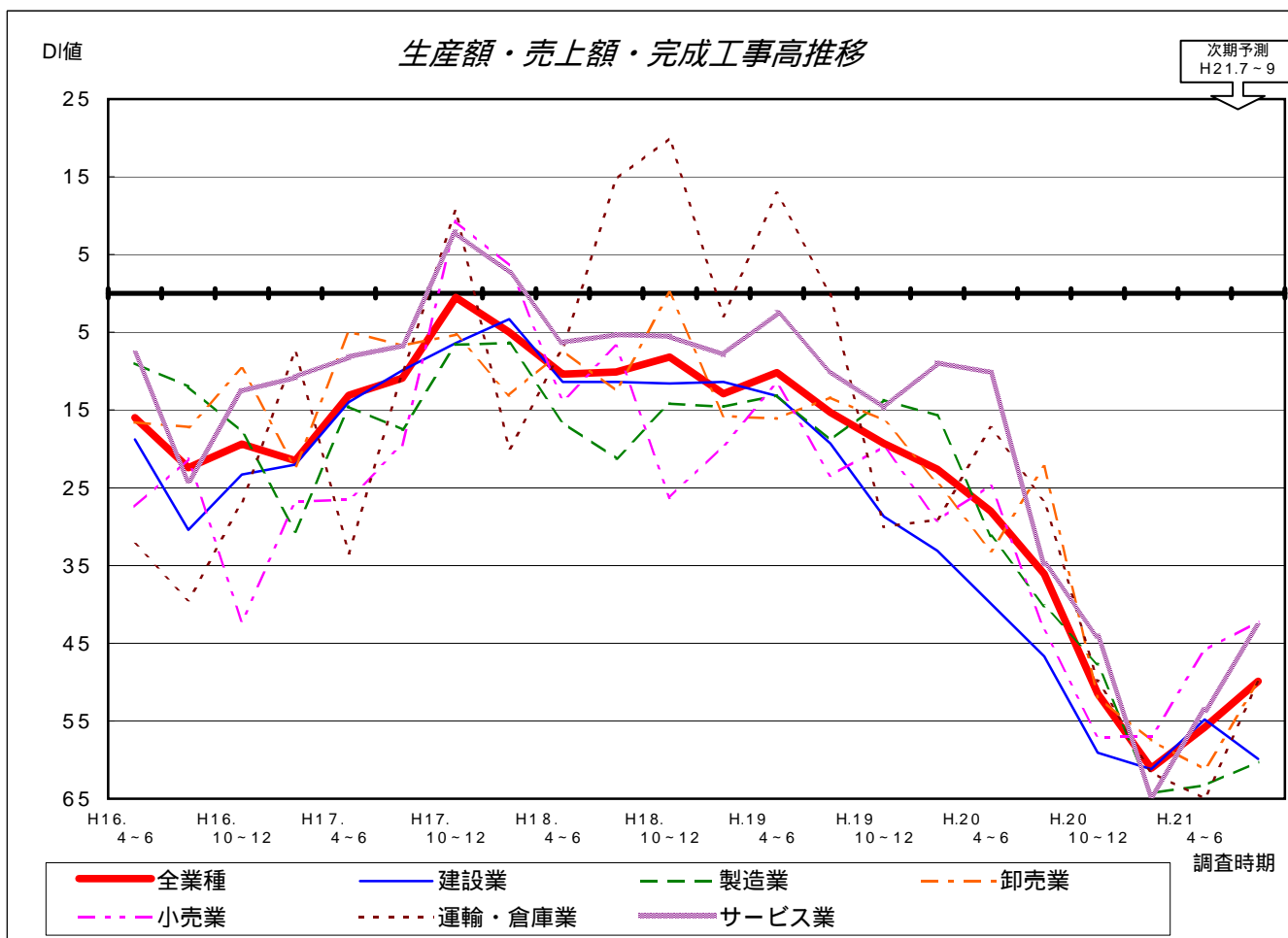
業種別に対前期比でDI値を見ると、小売業が+11.1ポイント、サービス業+11.0ポイント、建設業+6.4ポイント、製造業+1.0ポイントと改善が見られたものの、卸売業が-3.7ポイント、運輸・倉庫業-3.4ポイントと悪化した。

売上が増加した理由としては、「受注、需要の増加」39.6%、「得意先開拓・客数の増加」35.8%に集中している。一方で、減少した理由としては、「受注、需要の減少」76.2%、「得意先開拓・客数の減少」39.9%、「客単価の低下」37.9%、「出荷・販売価格の上下、料金改定」23.1%の順となっている。

規模別のDI値を見ると、中小企業は前期比+5.2ポイント(前期DI値 61.1)、大企業は前期比+6.2ポイント(同 60.6)とともに改善した。

(単位 %)

	今四半期(21年4~6月期)実績							次四半期(21年7~9月期)予測						
	2ケタ増	1ケタ増	横ばい	1ケタ減	2ケタ減	未記入	DI値	2ケタ増	1ケタ増	横ばい	1ケタ減	2ケタ減	未記入	DI値
全業種	2.0	5.5	26.7	34.9	28.4	2.4	55.8	1.0	5.5	31.7	36.5	19.9	5.4	49.9
建設業	0.7	5.8	30.7	35.0	26.3	1.5	54.8	0.0	5.1	25.5	43.1	21.9	4.4	59.9
製造業	1.0	6.1	21.4	35.7	34.7	1.0	63.3	1.0	2.0	30.6	38.8	24.5	3.1	60.3
卸売業	2.6	6.0	19.8	33.6	36.2	1.7	61.2	0.9	8.6	26.7	32.8	26.7	4.3	50.0
小売業	2.4	10.8	24.1	39.8	19.3	3.6	45.9	1.2	6.0	36.1	36.1	13.3	7.2	42.2
運輸・倉庫業	0.0	0.0	35.0	25.0	40.0	0.0	65.0	0.0	5.0	35.0	35.0	20.0	5.0	50.0
サービス業	2.8	3.6	30.0	34.4	25.6	3.6	53.6	1.6	5.6	36.0	34.0	16.0	6.8	42.8
中小企業	2.0	5.3	27.1	34.2	29.0	2.4	55.9	0.9	5.3	31.0	36.8	20.5	5.5	51.1
大企業	2.2	8.7	21.7	45.7	19.6	2.2	54.4	2.2	8.7	41.3	32.6	10.9	4.3	32.6



参考資料：( 2. 生産額、売上高、完成工事高 )

今期の生産額、売上額、完成工事高が前年同期より増加した主な理由(複数回答可) (単位 %)

増加理由	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	天候などの自然条件	増加又は減少の注	道路、交通事情の変化	製(商)品又は消費者ニーズの変化	格出の上下、販売価格の改定	促進等	へ開新(商)野	業業大手企業、同種の参入、他	客得数の先開拓	又は客単価の上昇	品取扱量の増減(商)
全業種	5.7	39.6	1.9	7.5	11.3	7.5	17.0	0.0	35.8	13.2	15.1
建設業	0.0	77.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	11.1	0.0
製造業	0.0	42.9	0.0	14.3	14.3	14.3	28.6	0.0	28.6	14.3	14.3
卸売業	0.0	30.0	0.0	20.0	20.0	0.0	30.0	0.0	60.0	10.0	50.0
小売業	18.2	18.2	0.0	0.0	18.2	27.3	18.2	0.0	27.3	9.1	9.1
運輸・倉庫業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
サービス業	6.3	37.5	6.3	6.3	6.3	0.0	12.5	0.0	31.3	18.8	6.3
中小企業	0.0	41.7	0.0	8.3	10.4	6.3	18.8	0.0	39.6	12.5	16.7
大企業	60.0	20.0	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0

増加理由	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
	上品の品質向上	採算部門の縮小	工場、店舗の立地	支店の増設、特約店の増減	老朽化、店舗競争の低下	又機械の廃止、買替	員増減、外資	手技者の増減、運転	又駐車場の増設	その他	無回答
全業種	3.8	5.7	0.0	13.2	0.0	3.8	9.4	1.9	0.0	7.5	0.0
建設業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0
製造業	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
卸売業	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	10.0	0.0
小売業	0.0	9.1	0.0	36.4	0.0	9.1	18.2	0.0	0.0	91.0	0.0
運輸・倉庫業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
サービス業	0.0	6.3	0.0	18.8	0.0	0.0	6.3	6.3	0.0	12.5	0.0
中小企業	4.2	2.1	0.0	12.5	0.0	4.2	10.4	2.1	0.0	6.3	0.0
大企業	0.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0

今期の生産額、売上額、完成工事高が前年同期より減少した主な理由(複数回答可) (単位 %)

減少理由	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	天候などの自然条件	増加又は減少の注	道路、交通事情の変化	製(商)品又は消費者ニーズの変化	格出の上下、販売価格の改定	促進等	へ開新(商)野	業業大手企業、同種の参入、他	客得数の先開拓	又は客単価の上昇	品取扱量の増減(商)
全業種	6.1	76.2	2.5	14.3	23.1	1.6	0.9	13.2	39.9	37.9	8.7
建設業	0.0	86.9	0.0	4.8	15.5	0.0	0.0	11.9	42.9	35.7	0.0
製造業	5.8	91.3	2.9	14.5	30.4	0.0	1.4	14.5	23.2	23.2	14.5
卸売業	12.3	77.8	2.5	13.6	32.1	3.7	1.2	13.6	32.1	35.8	16.0
小売業	12.2	59.2	6.1	26.5	30.6	4.1	4.1	18.4	49.0	40.8	14.3
運輸・倉庫業	7.7	69.2	7.7	15.4	23.1	0.0	0.0	0.0	30.8	30.8	23.1
サービス業	4.0	68.7	2.0	16.0	16.7	1.3	0.0	12.7	48.0	46.7	4.0
中小企業	6.0	76.9	2.4	14.7	23.3	1.4	0.7	13.0	39.7	37.7	8.9
大企業	6.7	66.7	3.3	10.0	20.0	3.3	3.3	16.7	43.3	40.0	6.7

減少理由	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
	上品の品質向上	採算部門の縮小	工場、店舗の立地	支店の増設、特約店の増減	老朽化、店舗競争の低下	又機械の廃止、買替	員増減、外資	手技者の増減、運転	又駐車場の増設	その他	無回答
全業種	1.3	2.0	1.1	1.3	2.5	0.9	2.2	2.0	0.2	6.3	1.8
建設業	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	3.6	3.6
製造業	0.0	4.3	2.9	1.4	1.4	1.4	1.4	0.0	0.0	4.3	1.4
卸売業	2.5	0.0	1.2	0.0	1.2	0.0	1.2	0.0	0.0	2.5	2.5
小売業	2.0	4.1	2.0	6.1	0.0	0.0	8.2	0.0	0.0	10.2	2.0
運輸・倉庫業	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4	7.7	0.0	15.4	7.7	0.0	0.0
サービス業	0.7	2.7	0.7	1.3	4.7	1.3	2.7	3.3	0.0	10.0	0.7
中小企業	1.2	1.9	1.2	1.2	2.6	0.7	1.9	2.2	0.2	6.0	1.9
大企業	3.3	3.3	0.0	3.3	0.0	3.3	6.7	0.0	0.0	10.0	0.0

### 3. 原材料、製（商）品仕入価格

《3期連続下落、次期予測も下落へ》

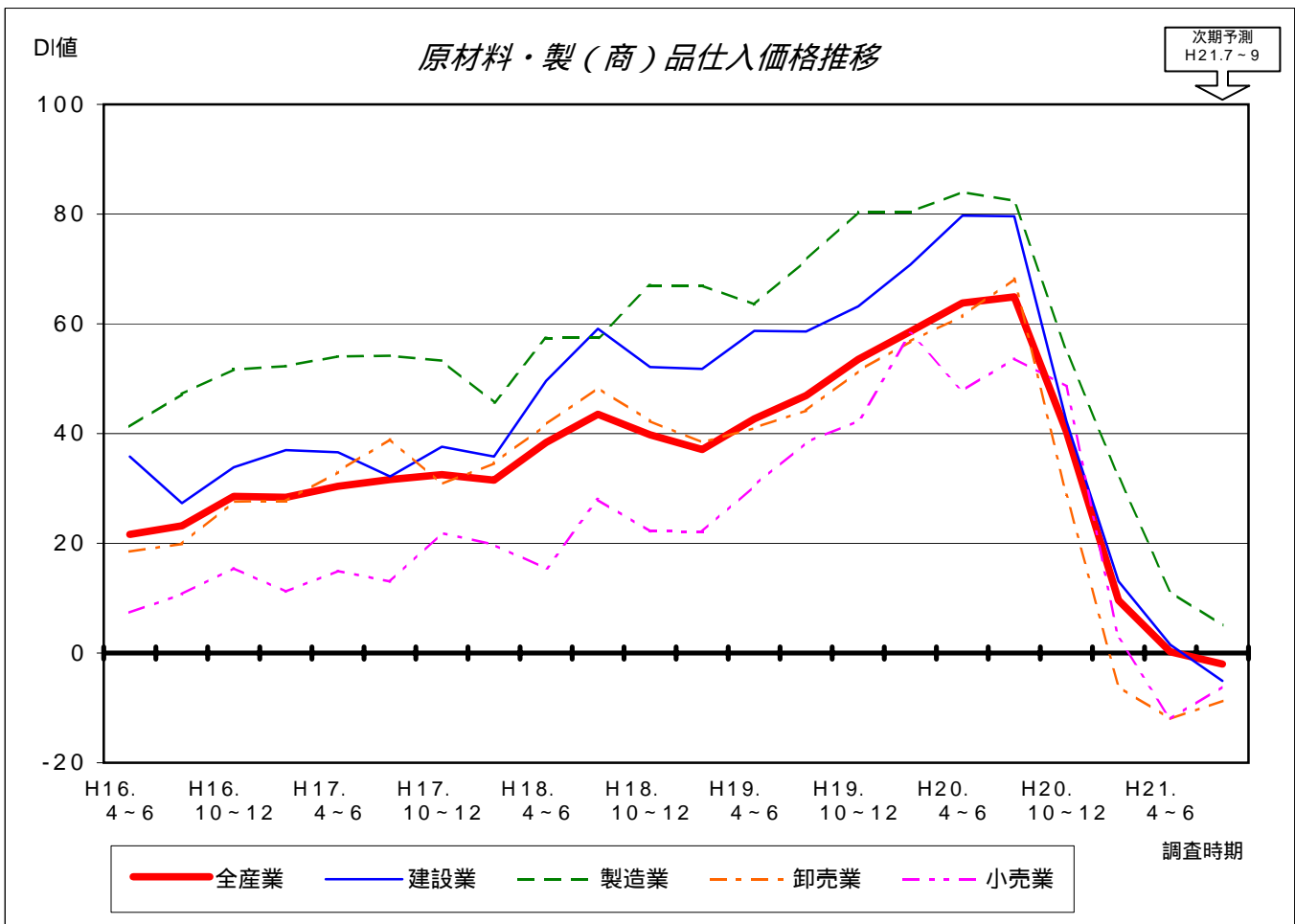
原材料、製（商）品仕入価格は「上昇」と回答した企業割合は14.8%、「下落」と回答した企業割合は14.6%となっており、DI値は0.2（前期DI値9.6）と前期比-9.4ポイントの「下落」となっている。

業種別に対前期比でDI値を見ると、製造業-20.9ポイント、小売業-14.6ポイント、建設業-11.6ポイント、卸売業-5.9ポイントの減少となっている。

また、次期予測DI値については、2.0となっており、今期比で-2.2ポイントの「下落」予測となっている。

( 原材料、製品仕入価格(前年同期と比較して) ) ( 単位 % )

	今四半期(21年4~6月期)実績					次四半期(21年7~9月期)予測				
	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値
全業種	14.8	60.8	14.6	9.8	0.2	10.5	62.5	12.5	14.5	2.0
建設業	14.6	67.9	13.1	4.4	1.5	7.3	70.8	12.4	9.5	5.1
製造業	26.5	58.2	15.3	0.0	11.2	18.4	63.3	13.3	5.1	5.1
卸売業	12.1	62.1	24.1	1.7	12.0	10.3	63.8	19.0	6.9	8.7
小売業	13.3	61.4	25.3	0.0	12.0	12.0	66.3	18.1	3.6	6.1
運輸・倉庫業	0.0	45.0	15.0	40.0	15.0	15.0	40.0	5.0	40.0	10.0
サービス業	13.2	58.4	7.2	21.2	6.0	8.4	57.6	8.0	26.0	0.4
中小企業	15.7	60.0	14.1	10.2	1.6	11.1	61.9	12.0	15.0	0.9
大企業	2.2	71.7	21.7	4.3	19.5	2.2	71.7	19.6	6.5	17.4



#### 4. 受注価格、販売価格

《5期連続して悪化、次期予測は反転改善へ》

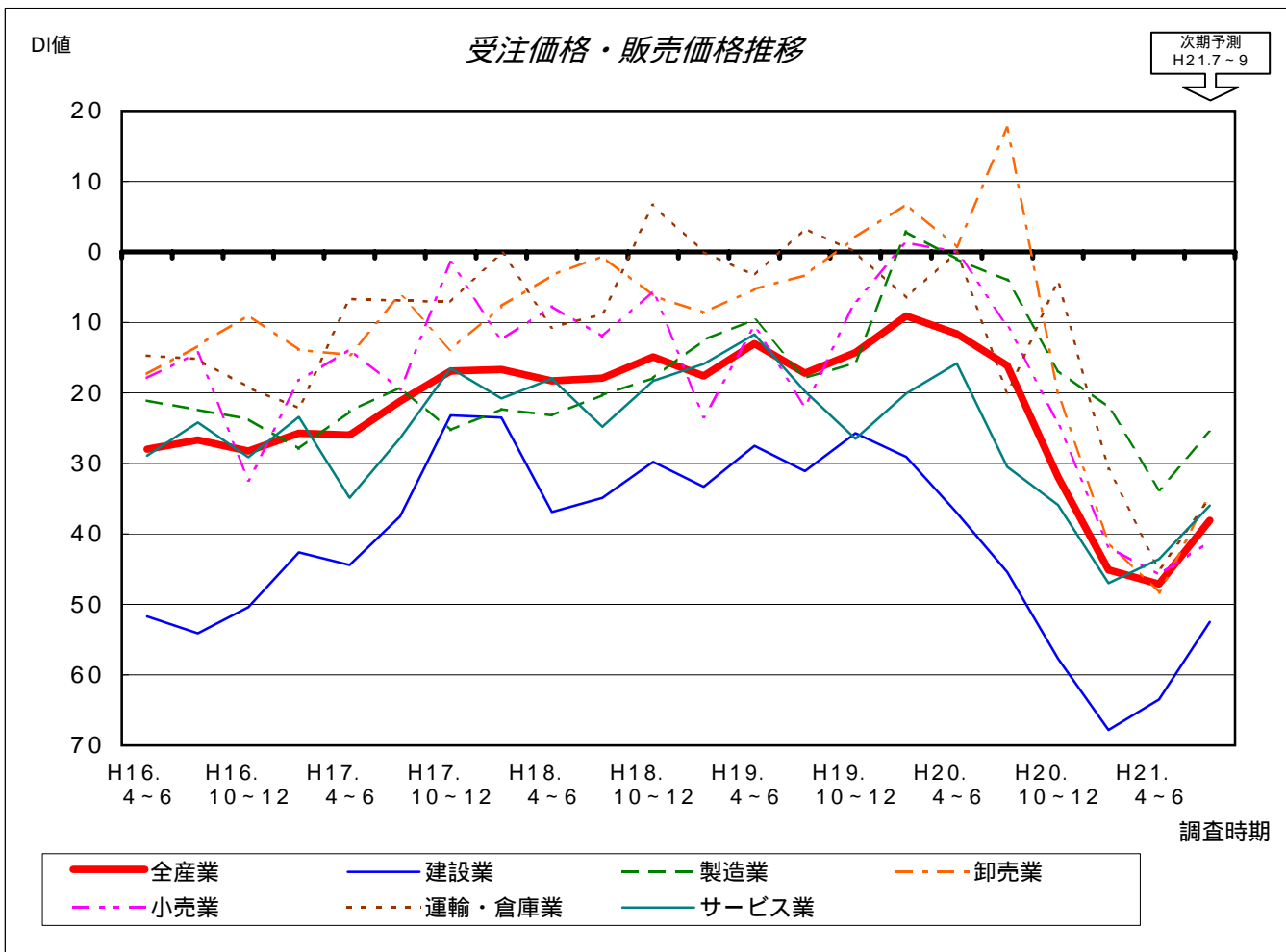
受注価格、販売価格については、「上昇」と回答した企業割合は2.3%、「下落」と回答した企業割合は49.4%となっており、DI値は47.1（前期DI値45.1）と前期比-2.0ポイント悪化した。

業種別に対前期比でDI値を見ると、建設業+4.3ポイント、サービス業+3.4ポイントの改善となったが、運輸・倉庫業-14.2ポイント、製造業-11.7ポイント、卸売業-7.1ポイント、小売業-4.0ポイントの悪化となった。

次四半期予測DI値については、38.1となっており、今期比で+9.0ポイントの改善予測となっている。

( 受注価格、販売価格(前年同月と比較して) ) ( 単位 % )

	今四半期(21年4~6月期)実績					次四半期(21年7~9月期)予測				
	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値
全業種	2.3	44.3	49.4	4.0	47.1	2.7	47.4	40.8	9.1	38.1
建設業	0.0	34.3	63.5	2.2	63.5	2.2	35.8	54.7	7.3	52.5
製造業	7.1	51.0	40.8	1.0	33.7	7.1	52.0	32.7	8.2	25.6
卸売業	2.6	45.7	50.9	0.9	48.3	2.6	55.2	37.1	5.2	34.5
小売業	1.2	50.6	47.0	1.2	45.8	1.2	53.0	42.2	3.6	41.0
運輸・倉庫業	0.0	40.0	45.0	15.0	45.0	5.0	40.0	40.0	15.0	35.0
サービス業	2.0	44.8	45.6	7.6	43.6	1.6	47.2	37.6	13.6	36.0
中小企業	2.4	43.9	49.5	4.1	47.1	2.9	46.8	40.9	9.4	38.0
大企業	0.0	50.0	47.8	2.2	47.8	0.0	56.5	39.1	4.3	39.1



## 5. 製(商)品在庫

《2期連続の改善、次期予測はさらに改善へ》

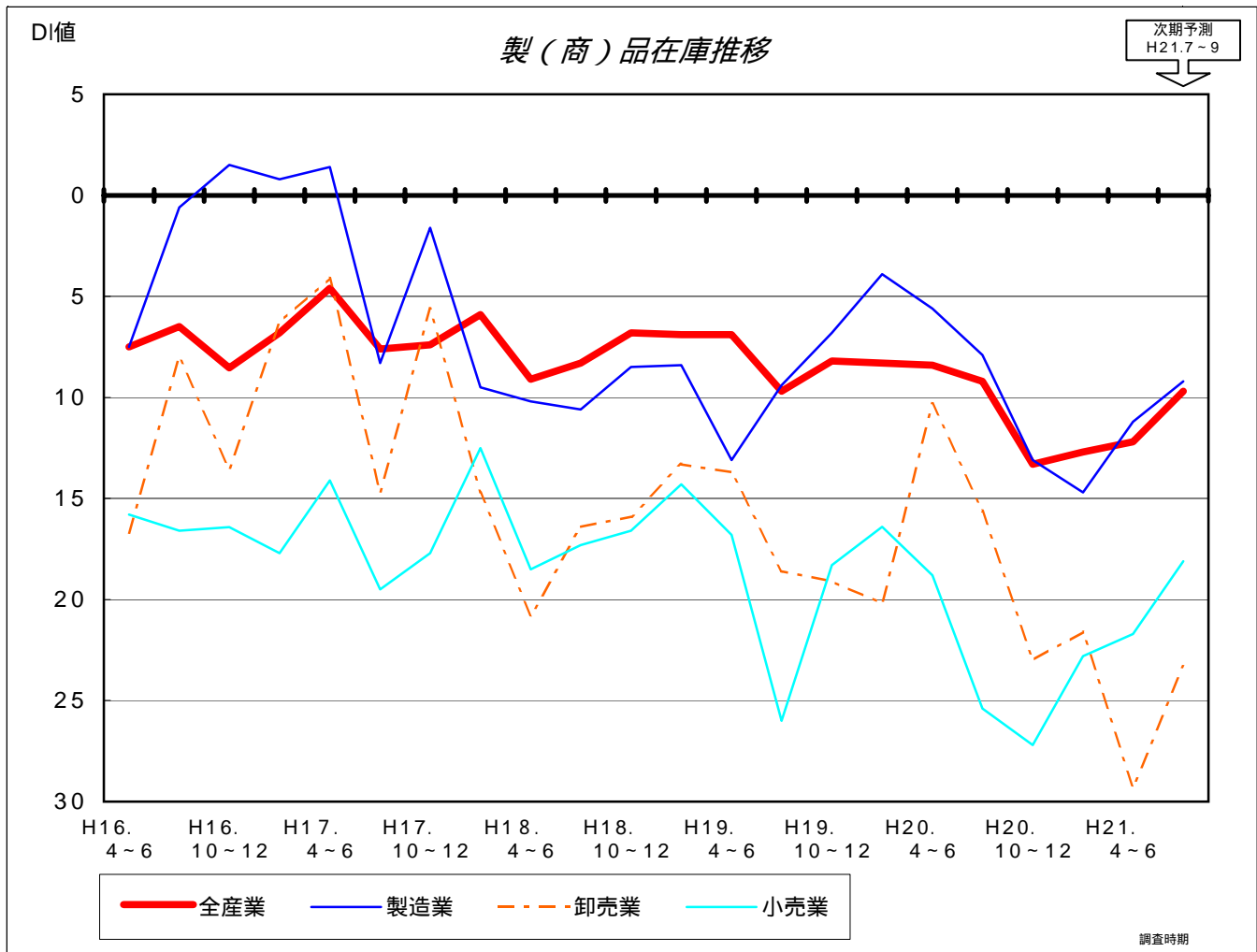
製(商)品在庫は、「適正」と回答した企業割合は58.1%、「不足」と回答した企業割合は1.4%、「過剰」と回答した企業割合は13.6%となっており、DI値は 12.2 (前期DI値 12.7)と前期比+0.5ポイントの改善となった。

次四半期予測DI値については 9.7となっており、今期比で+2.5ポイントの改善が予測されている。

(製(商)品在庫(貴社の適正水準と比較して))

(単位 %)

	今四半期(21年4~6月期)実績					次四半期(21年7~9月期)予測				
	不足	適正	過剰	未記入	DI値	不足	適正	過剰	未記入	DI値
全業種	1.4	58.1	13.6	26.8	12.2	1.7	56.5	11.4	30.4	9.7
建設業	1.5	45.3	7.3	46.0	5.8	1.5	43.8	6.6	48.2	5.1
製造業	3.1	78.6	14.3	4.1	11.2	2.0	76.5	11.2	10.2	9.2
卸売業	0.0	65.5	29.3	5.2	29.3	0.0	66.4	23.3	10.3	23.3
小売業	1.2	73.5	22.9	2.4	21.7	1.2	75.9	19.3	3.6	18.1
運輸・倉庫業	0.0	10.0	10.0	80.0	10.0	0.0	15.0	5.0	80.0	5.0
サービス業	1.6	52.4	6.8	39.2	5.2	2.8	48.0	6.4	42.8	3.6
中小企業	1.5	57.0	13.7	27.8	12.2	1.7	55.6	11.1	31.6	9.4
大企業	0.0	73.9	13.0	13.0	13.0	2.2	69.6	15.2	13.0	13.0



## 6. 営業利益

《3期ぶりの改善、次期予測はさらに改善へ》

営業利益は、「増加」と回答した企業割合は7.1%、「減少した」と回答した企業割合は62.6%、「横ばい」と回答した企業割合は28.1%となり、DI値は 55.5（前期DI 59.4）と前期比+3.9ポイントの改善となった。

業種別に対前期比でDI値を見ると、サービス業+13.1ポイント（前期DI 63.9）、建設業+4.1ポイント（同 68.4）、小売業+3.7ポイント（同 50.7）、卸売業+2.0ポイント（同 55.4）の改善となったものの、運輸・倉庫業-15.0ポイント（同 50.0）、製造業-8.3ポイント（同 55.0）の悪化となった。

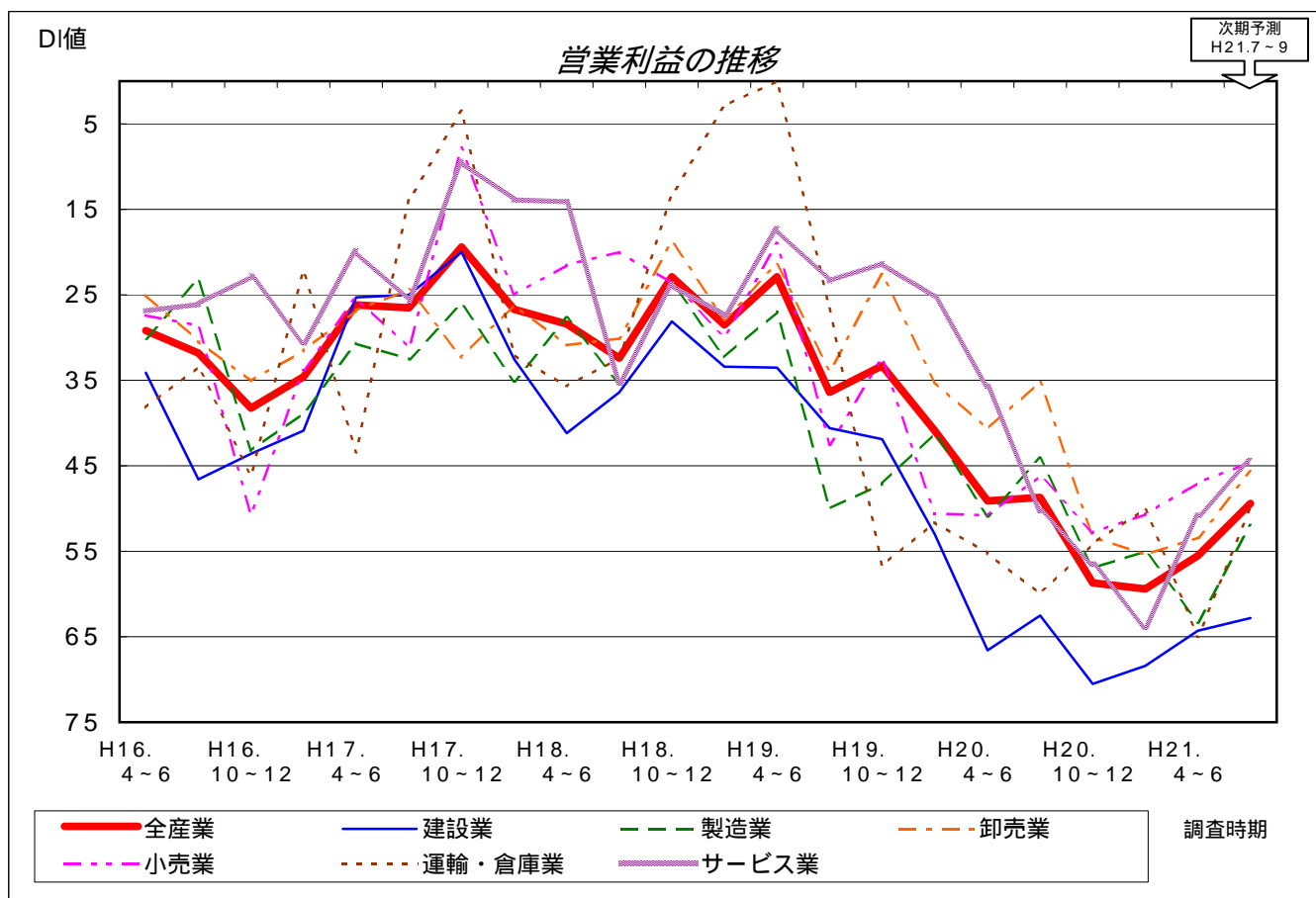
規模別のDI値を見ると、中小企業は前期比+3.3ポイント（前期DI 59.8）、大企業は前期比+14.0ポイント（同 55.3）の改善となった。

次四半期予測DI値は 49.4と、今期比で+6.1ポイントの改善が予測されている。

（営業利益(前年同期と比較して)）

（単位 %）

	今四半期(21年4～6月期)実績					次四半期(21年7～9月期)予測				
	増加	横ばい	減少	未記入	DI値	増加	横ばい	減少	未記入	DI値
全業種	7.1	28.1	62.6	2.1	55.5	6.4	30.8	55.8	7.0	49.4
建設業	3.6	26.3	67.9	2.2	64.3	5.1	19.0	67.9	8.0	62.8
製造業	6.1	23.5	69.4	1.0	63.3	5.1	31.6	57.1	6.1	52.0
卸売業	9.5	25.9	62.9	1.7	53.4	6.0	35.3	51.7	6.9	45.7
小売業	9.6	32.5	56.6	1.2	47.0	6.0	41.0	50.6	2.4	44.6
運輸・倉庫業	5.0	25.0	70.0	0.0	65.0	10.0	30.0	60.0	0.0	50.0
サービス業	7.6	30.8	58.4	3.2	50.8	7.6	31.6	52.0	8.8	44.4
中小企業	6.7	27.8	63.2	2.3	56.5	5.9	30.1	56.7	7.3	50.8
大企業	13.0	32.6	54.3	0.0	41.3	13.0	41.3	43.5	2.2	30.5



## 7. 売掛期間

《2期ぶりに再び悪化、次期予測は改善へ》

売掛期間は、「短縮化」と回答した企業割合は2.0%、「長期化」と回答した企業割合は11.8%、「不変」と回答した企業割合は81.7%となっており、DI値は 9.8と前期比-0.4ポイントの悪化となった。

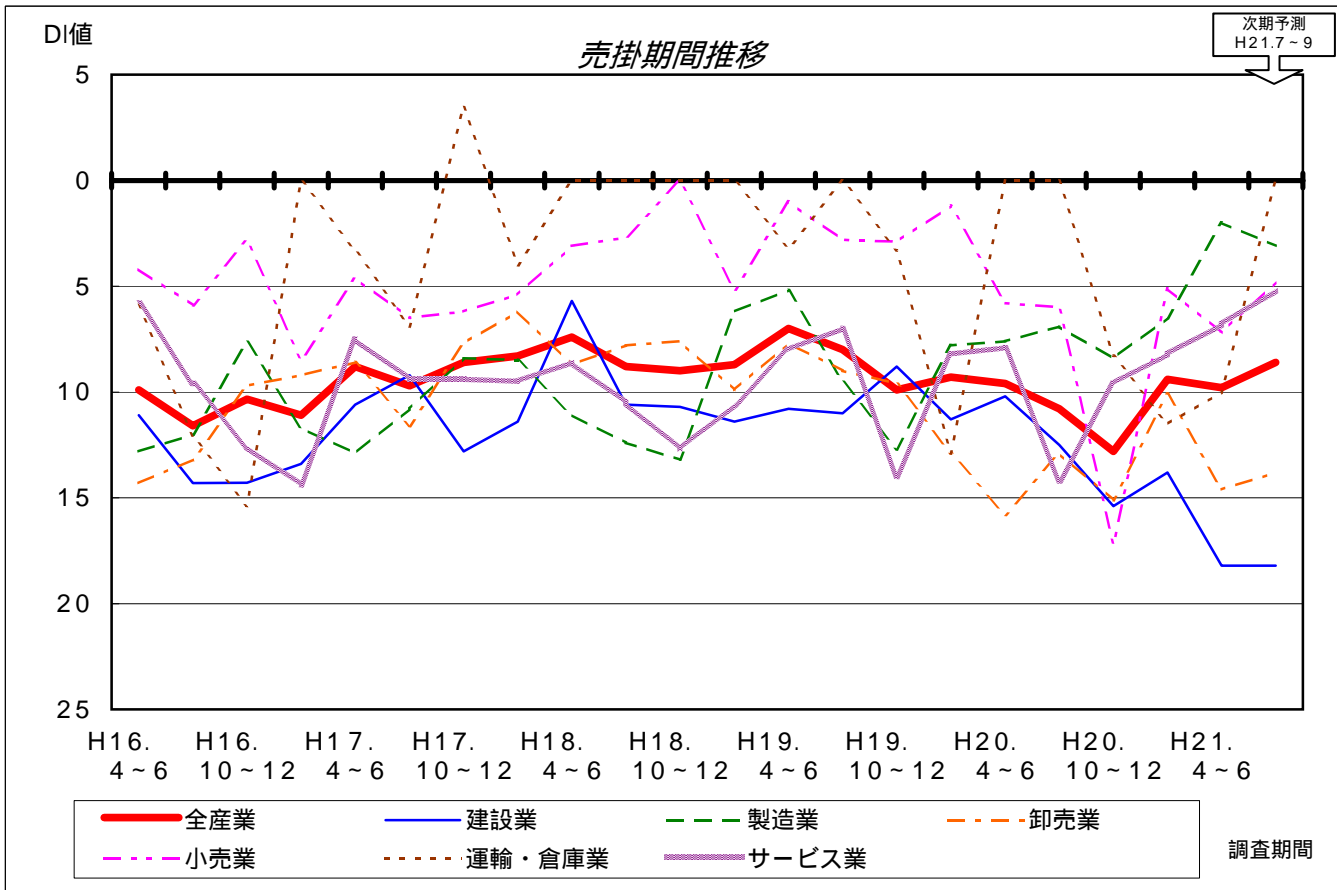
規模別のDI値を見ると、中小企業は前期比-0.6ポイント（前期DI 9.5）の悪化となったが、大企業では前期比+1.4ポイント（同 7.9）の改善となっている。

次四半期のDI値については 8.6と、今期比で+1.2ポイントの改善が予測されている。

（売掛期間（前年同期と比較して））

（単位 %）

	今四半期(21年4～6月期)実績					次四半期(21年7～9月期)予測				
	短縮化	不変	長期化	未記入	DI値	短縮化	不変	長期化	未記入	DI値
全業種	2.0	81.7	11.8	4.5	9.8	1.6	79.1	10.2	9.1	8.6
建設業	0.0	79.6	18.2	2.2	18.2	0.0	73.7	18.2	8.0	18.2
製造業	4.1	88.8	6.1	1.0	2.0	2.0	85.7	5.1	7.1	3.1
卸売業	0.9	82.8	15.5	0.9	14.6	1.7	77.6	15.5	5.2	13.8
小売業	2.4	85.5	9.6	2.4	7.2	1.2	89.2	6.0	3.6	4.8
運輸・倉庫業	5.0	75.0	15.0	5.0	10.0	10.0	75.0	10.0	5.0	0.0
サービス業	2.4	78.8	9.2	9.6	6.8	1.6	77.2	6.8	14.4	5.2
中小企業	2.1	81.0	12.2	4.7	10.1	1.7	78.6	10.3	9.4	8.6
大企業	0.0	91.3	6.5	2.2	6.5	0.0	87.0	8.7	4.3	8.7





## 8. 資金繰り

《2期連続の改善、次期予測は反転悪化へ》

資金繰りについては、「楽である」と回答した企業は4.3%、「苦しい」と回答した企業は36.9%、「不変」と回答した企業は56.7%となっており、DI値は 32.6（前期DI 33.2）と前期比+0.6ポイントの改善となった。

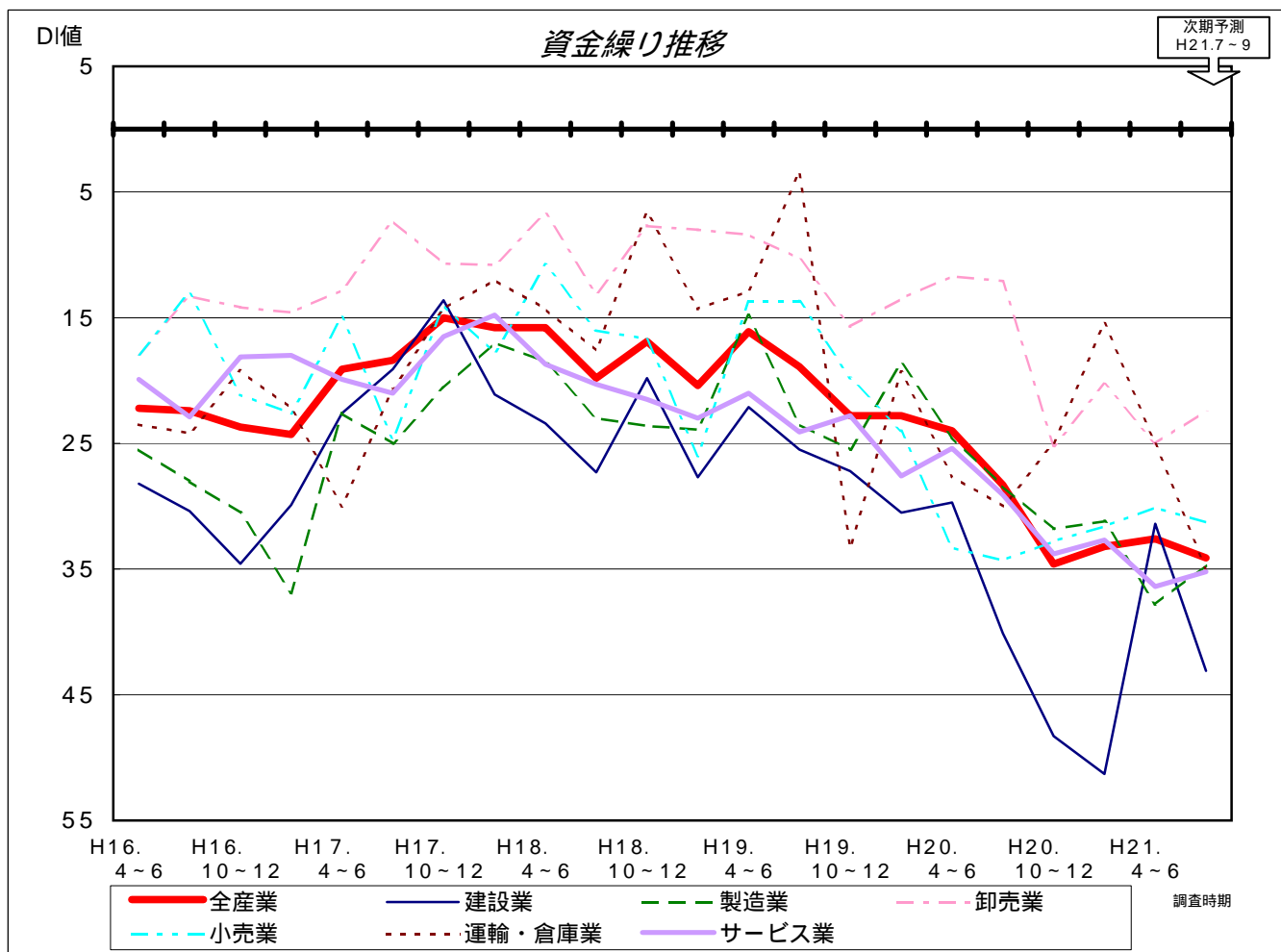
業種別に対前期比でDI値を見ると、建設業が+19.9ポイント、小売業+1.5ポイントの改善となったものの、運輸・倉庫業が-9.6ポイント、製造業-6.6ポイント、卸売業-4.7ポイント、サービス業-3.7ポイントの悪化となった。

規模別のDI値を見ると、中小企業は前期比+0.3ポイント（前期DI 34.0）、大企業は前期比+1.1ポイント（同 18.5）の改善となった。

（資金繰り(前年同期と比較して)）

（単位 %）

	今四半期(21年4～6月期)実績					次四半期(21年7～9月期)予測				
	楽である	不変	苦しい	未記入	DI値	楽になる	不変	苦しくなる	未記入	DI値
全業種	4.3	56.7	36.9	2.1	32.6	3.3	52.3	37.4	7.1	34.1
建設業	5.1	56.9	36.5	1.5	31.4	3.6	43.1	46.7	6.6	43.1
製造業	5.1	52.0	42.9	0.0	37.8	4.1	50.0	38.8	7.1	34.7
卸売業	7.8	58.6	32.8	0.9	25.0	5.2	62.1	27.6	5.2	22.4
小売業	2.4	62.7	32.5	2.4	30.1	1.2	63.9	32.5	2.4	31.3
運輸・倉庫業	0.0	70.0	25.0	5.0	25.0	0.0	60.0	35.0	5.0	35.0
サービス業	2.8	54.4	39.2	3.6	36.4	2.8	49.2	38.0	10.0	35.2
中小企業	4.6	55.0	38.3	2.1	33.7	3.5	50.8	38.4	7.3	34.9
大企業	0.0	80.4	17.4	2.2	17.4	0.0	73.9	21.7	4.3	21.7



## 9. 100万円以上の新規借入

100万円以上の新規借入を「行った」とする企業は41.9%（前期53.1%）と前期比で-11.2%の減少となった。一方で、「行ってない」とする企業は56.4%（前期45.1%）と前期比で+11.3%の増加となった。

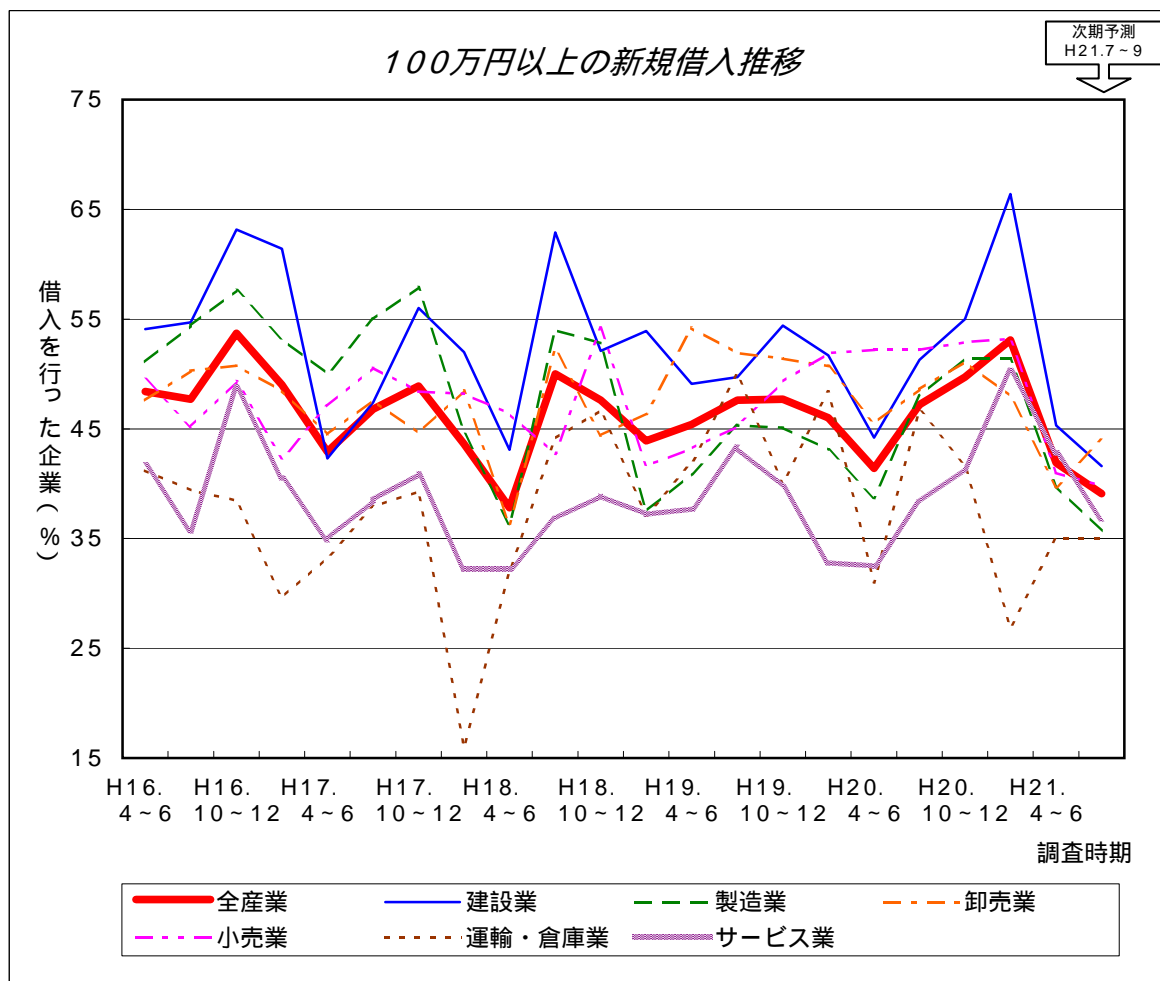
資金用途については、「運転」73.9%、「運転・設備」13.6%、「設備」9.2%という内訳になっている。

次四半期については、「行う予定」とする企業は39.1%、「行わない」とする企業は55.1%となっている。

（100万円以上の新規借入）

（単位 %）

	今四半期(21年4~6月期)実績			次四半期(21年7~9月期)予測		
	行った	行ってない	無回答	行う予定	行わない	無回答
全業種	41.9	56.4	1.7	39.1	55.1	5.8
建設業	45.3	54.0	0.7	41.6	53.3	5.1
製造業	39.8	59.2	1.0	35.7	61.2	3.1
卸売業	39.7	59.5	0.9	44.0	51.7	4.3
小売業	41.0	57.8	1.2	39.8	55.4	4.8
運輸・倉庫業	35.0	60.0	5.0	35.0	60.0	5.0
サービス業	42.8	54.4	2.8	36.8	54.8	8.4
中小企業	40.9	57.4	1.7	37.7	56.2	6.1
大企業	56.5	41.3	2.2	58.7	39.1	2.2



# 100万円以上の新規借入資金使途

(単位 %)

	今四半期100万円以上の 新規借入の資金使途(実績)				次四半期100万円以上の 新規借入予定の資金使途(予測)			
	運転資金	運転設備	設備資金	無回答	運転資金	運転設備	設備資金	無回答
全業種	73.9	13.6	9.2	3.4	78.5	10.9	6.2	4.4
建設業	83.9	6.5	8.1	1.6	91.2	3.5	3.5	1.8
製造業	76.9	10.3	7.7	5.1	82.9	8.6	5.7	2.9
卸売業	82.6	10.9	4.3	2.2	80.4	9.8	5.9	3.9
小売業	64.7	17.6	14.7	2.9	66.7	21.2	3.0	9.1
運輸・倉庫業	71.4	14.3	14.3	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
サービス業	66.4	18.7	10.3	4.7	70.7	14.1	9.8	5.4
中小企業	77.0	11.5	8.2	3.3	83.1	7.7	4.8	4.4
大企業	42.3	34.6	19.2	3.8	37.0	40.7	18.5	3.7

## 10. 100万円以上の設備投資

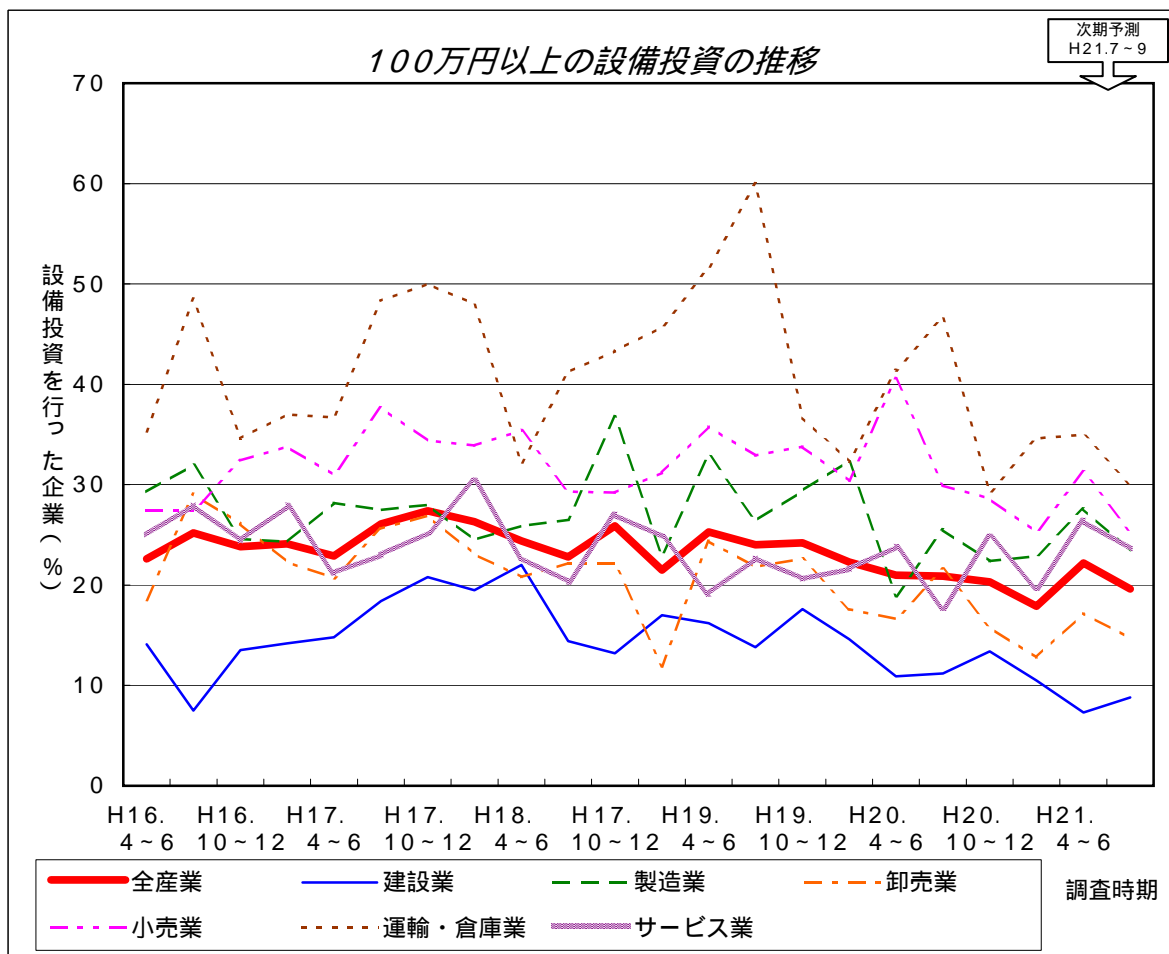
100万円以上の設備投資を「行った」とする企業は22.2%、「行ってない」とする企業は73.6%となっており、その投資内容については、「新規」28.2%、「新規・更新」35.9%、「更新」30.8%という内訳になった。

次期予測については、「行う予定」とする企業は19.6%、「行わない」とする企業は71.9%であり、その投資内容については、「新規」31.2%、「新規・更新」39.1%、「更新」26.1%となっている。

( 100万円以上の設備投資 )

( 単位 % )

	今四半期(21年4~6月期)実績			次四半期(21年7~9月期)予測		
	行った	行ってない	無回答	行う予定	行わない	無回答
全業種	22.2	73.6	4.3	19.6	71.9	8.5
建設業	7.3	89.8	2.9	8.8	81.0	10.2
製造業	27.6	68.4	4.1	23.5	72.4	4.1
卸売業	17.2	80.2	2.6	14.7	76.7	8.6
小売業	31.3	66.3	2.4	25.3	68.7	6.0
運輸・倉庫業	35.0	60.0	5.0	30.0	65.0	5.0
サービス業	26.4	67.2	6.4	23.6	66.0	10.4
中小企業	18.8	76.7	4.4	16.3	74.9	8.8
大企業	69.6	28.3	2.2	67.4	28.3	4.3



## 100万円以上の設備投資

(単位 %)

	今四半期100万円以上の 設備投資の資金使途(実績)				次四半期100万円以上の 設備投資計画の資金使途(予測)			
	新規	新規、更新	更新	無回答	新規	新規、更新	更新	無回答
全業種	28.2	35.9	30.8	5.1	31.2	39.1	26.1	3.6
建設業	30.0	20.0	40.0	10.0	25.0	33.3	41.7	0.0
製造業	29.6	29.6	40.7	0.0	26.1	13.0	60.9	0.0
卸売業	30.0	25.0	45.0	0.0	41.2	41.2	17.6	0.0
小売業	23.1	50.0	19.2	7.7	19.0	57.1	19.0	4.8
運輸・倉庫業	14.3	57.1	28.6	0.0	16.7	50.0	33.3	0.0
サービス業	30.3	36.4	25.8	7.6	37.3	42.4	13.6	6.8
中小企業	30.6	28.2	35.5	5.6	33.6	32.7	29.0	4.7
大企業	18.8	65.6	12.5	3.1	22.6	61.3	16.1	0.0

## 11. 当面の経営上の問題点

当面の経営上の問題点としては、「売上高、生産額、工事高の伸び悩み」64.9%、「受注、販売競争の激化」55.1%、「営業利益の低下」52.1%、「販売価格への転嫁難」21.3%、「経費の増加」18.0%の5項目を指摘する傾向が続いており、全業種ともほぼ5項目に集中している。

他に指摘が集中した項目として、「官公需要の停滞」が全業種で17.2%のうち建設業が34.3%と突出し、運輸・倉庫業の「金利負担増加」30.0%、「販売代金の回収難、不良債権の増加」20.0%、「人手過剰、人件費増」20.0%が、全業種に比べ非常に高水準となっているのが特徴である。

( 当面の経営上の問題点(複数回答可) )

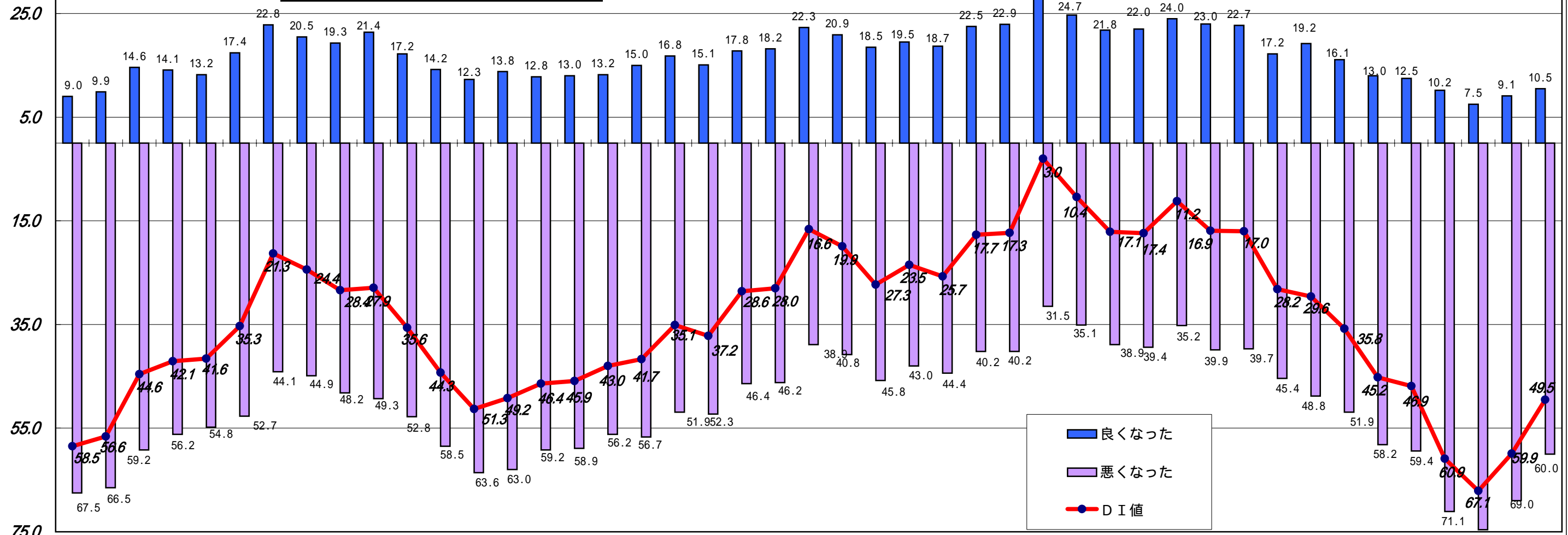
( 単位 % )

問題点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
	の受注激化、販売競争	び額売、上額、高の産伸	出店、業者、大型、店の進	官公需要の停滞	輸出不振	元請の減少	低下率、稼働率	難原材料高、入手	の出荷、納品価格	過剰在庫	嫁販売価格への転	増難、売代金の回収	化、掛金の長期
全業種	55.1	64.9	13.1	17.2	1.6	10.1	9.8	6.8	18.6	6.7	21.3	7.2	7.1
建設業	76.6	78.8	13.1	34.3	0.0	29.2	10.2	4.4	8.0	0.7	11.7	7.3	8.0
製造業	53.1	67.3	11.2	12.2	2.0	5.1	20.4	17.3	30.6	9.2	35.7	5.1	8.2
卸売業	56.9	58.6	7.8	13.8	5.2	2.6	6.0	2.6	32.8	17.2	29.3	13.8	10.3
小売業	50.6	56.6	21.7	6.0	1.2	1.2	2.4	4.8	15.7	10.8	27.7	4.8	3.6
運輸・倉庫業	25.0	60.0	10.0	10.0	5.0	10.0	10.0	10.0	25.0	5.0	30.0	20.0	5.0
サービス業	47.2	62.4	13.6	15.6	0.4	7.6	9.6	6.4	13.6	2.8	14.4	4.8	6.0
中小企業	54.4	65.5	12.5	18.1	1.5	10.8	10.3	6.5	18.7	7.0	20.1	7.3	7.4
大企業	65.2	56.5	21.7	4.3	2.2	0.0	2.2	10.9	17.4	2.2	39.1	6.5	2.2

問題点	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
	経費の増加	営業利益の低下	不隘店代、剩、舖、の老朽化、近	店、舖、設、備、過	が家賃地代の値上	化難人、材、定、着、性、求、の、人、悪	費人手過剰、人件	対労務管理、組合	資金借入難	金利負担増加	難情報不足、人材	その他	無回答
全業種	18.0	52.1	0.6	5.5	0.7	10.4	9.4	3.0	11.6	8.2	3.3	2.4	2.0
建設業	12.4	66.4	0.0	0.0	0.0	4.4	2.9	0.0	16.1	9.5	4.4	0.7	0.7
製造業	13.3	49.0	2.0	8.2	1.0	9.2	6.1	2.0	13.3	7.1	1.0	1.0	1.0
卸売業	17.2	45.7	0.9	1.7	0.0	5.2	6.0	0.9	6.0	9.5	2.6	0.9	3.4
小売業	27.7	49.4	1.2	12.0	1.2	14.5	14.5	1.2	10.8	6.0	3.6	4.8	1.2
運輸・倉庫業	10.0	45.0	0.0	10.0	5.0	15.0	20.0	10.0	10.0	30.0	0.0	10.0	5.0
サービス業	20.8	50.0	0.0	6.8	0.8	14.8	13.2	6.0	11.6	6.4	4.0	3.2	2.4
中小企業	16.9	52.6	0.6	5.0	0.8	10.2	9.0	2.7	12.3	8.5	3.3	2.6	2.1
大企業	34.8	45.7	0.0	13.0	0.0	13.0	15.2	6.5	2.2	4.3	2.2	0.0	0.0

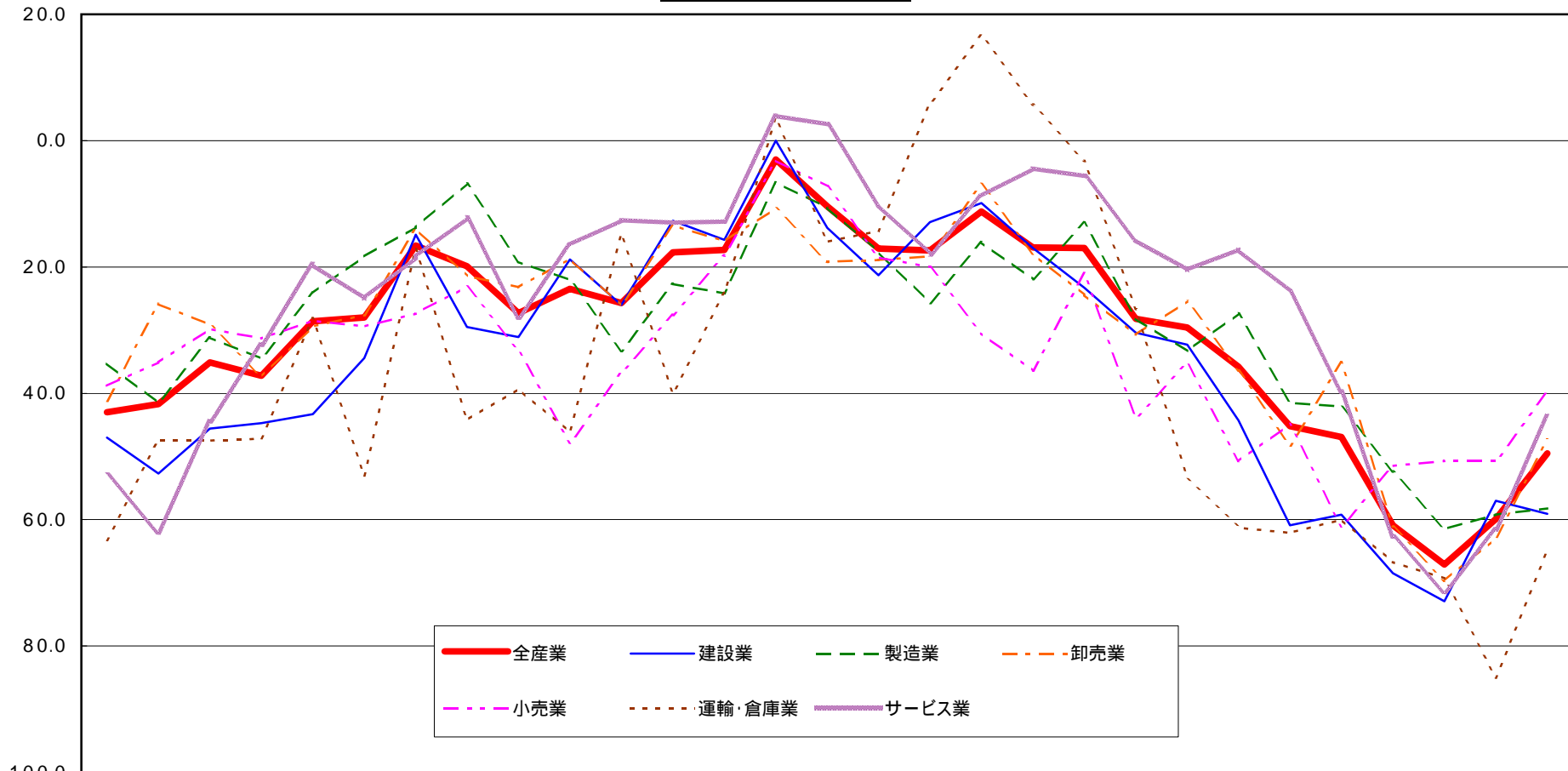
自社業況の景況判断推移（「良くなった」「悪くなった」別、時代背景参考）

自社業況DI値の推移



次期予測  
 高速道路料金引下げ、定額給付金給付、新型インフルエンザの国内感染  
 定額給付金の補正予算成立、IMFが世界経済成長率戦後最悪の見通し発表  
 日銀政策金利引下げ、トヨタ赤字転落発表、派遣切りが社会問題  
 福田首相辞任、麻生内閣発足、米国 リーマン・ブラザーズ破綻  
 4月ガソリン税暫定税率廃止、原油価格1バレル140円突破  
 中国製冷凍餃子中毒問題発生、白川日銀総裁誕生  
 福田内閣発足  
 参院選与野党逆転、安部首相辞任  
 対「ト」最安値を更新  
 日銀による追加利上げ  
 米国産牛肉輸入再開  
 安部内閣発足  
 改正道路交通法施行、新会社法施行  
 日経平均一万七千円回復  
 日銀量的緩和政策解除  
 日経平均一万六千円回復、構造計算偽造問題  
 衆議院選挙自民大勝  
 個人情報保護法、ペイオフ全面解禁  
 愛知万博開幕、福岡沖地震、地下鉄七隈線  
 新潟中越地震、新紙幣発行  
 参院選民主党躍進、国の債務残高七百兆円突破  
 消費税法改正、年金改革法案成立  
 鳥インフルエンザ、九州新幹線開業  
 暖冬、足利銀行国有化  
 日経平均一万円台回復  
 イラク戦争SARS  
 日経平均八千円割れ  
 総合デフレ対策の発表  
 輸出と生産の好循環に陰り  
 政府景気底入れ判断  
 日経平均九千五百円割れ  
 失業率悪化五・五％  
 米テロ東証株一万円割  
 小泉内閣骨太方針発表  
 日銀量的金融緩和決定  
 倒産負債最悪二四兆円  
 九州沖縄サミット開催  
 大卒就職率最低九一・一％  
 公示地価九年連続下落  
 経済新生対策十八兆円  
 一勸富士興銀統合発表  
 男性失業率初五％台  
 地域振興券交付  
 最大九兆三千億円減税  
 東証株バブル後最安値

自社業況DI値の推移



— 全産業   
 — 建設業   
 - - - 製造業   
 - - - 卸売業  
- - - 小売業   
 - - - 運輸・倉庫業   
— サービス業

	H14. 7-9	H14. 10-12	H15. 1-3	H15. 4-6	H15. 7-9	H15. 10-12	H16. 1-3	H16. 4-6	H16. 7-9	H16. 10-12	H17. 1-3	H17. 4-6	H17. 7-9	H17. 10-12	H18. 1-3	H18. 4-6	H18. 7-9	H18. 10-12	H19. 1-3	H19. 4-6	H19. 7-9	H19. 10-12	H20. 1-3	H20. 4-6	H20. 7-9	H20. 10-12	H21. 1-3	H21. 4-6	H21. 7-9
全産業	43.0	41.7	35.1	37.2	28.6	28.0	16.6	19.9	27.3	23.5	25.7	17.7	17.3	3.0	10.4	17.1	17.4	11.2	16.9	17.0	28.2	29.6	35.8	45.2	46.9	60.9	67.1	59.9	49.5
建設業	47.0	52.7	45.6	44.7	43.3	34.4	14.9	29.5	31.1	18.8	26.0	12.7	15.7	0.0	13.8	21.3	12.9	9.9	17.0	23.3	30.4	32.3	44.3	60.9	59.2	68.5	72.9	57.0	59.1
製造業	35.3	41.5	31.2	34.5	24.1	18.3	13.7	6.8	19.2	22.0	33.3	22.7	24.2	6.6	10.6	17.6	25.7	16.1	21.9	13.0	28.2	33.3	27.4	41.5	42.1	52.4	61.5	59.2	58.2
卸売業	41.2	25.9	29.1	37.4	29.4	27.6	13.9	21.4	23.2	18.7	26.1	13.4	15.9	10.7	19.2	18.9	18.3	6.9	17.9	24.4	30.7	25.4	36.4	48.3	35.1	61.1	69.7	62.9	47.4
小売業	38.8	35.1	29.8	31.3	28.5	29.4	27.4	23.1	33.2	47.9	36.7	27.6	18.2	3.2	7.2	18.5	20.0	30.5	36.4	21.0	43.9	35.2	50.7	44.9	61.1	51.5	50.7	50.7	39.8
運輸・倉庫業	63.2	47.4	47.5	47.2	28.1	53.1	17.1	44.2	39.3	46.2	14.8	40.0	24.1	3.6	16.0	14.3	5.9	16.7	5.7	3.2	26.7	53.3	61.3	62.1	60.0	66.7	69.3	85.0	65.0
サービス業	52.9	62.0	44.4	32.3	19.6	25.0	18.4	12.2	28.0	16.5	12.6	13.0	12.8	3.9	2.6	10.1	18.0	8.8	4.4	5.6	15.7	20.5	17.2	23.9	39.7	62.7	71.4	61.6	43.6